寺内林四郎左衛門成政同新左衛門盛忠兄清左衛門と上
下部と四三人まもりて大将主長を討ん と敵より
て豊前国の陣へ入る 九月廿五日氏の家より
本長右衛門と上方之を知て板倉の井沢左兵
大蔵を共ちて出ずるあり けるを
見て給りて内へ入る 長右衛門の伜三郎左衛門
と上方せんは中を名乗が同じて討死
めんとて母を捨げて突いてくれば陣屋の左右
の人々 おてはなで寺内林三人を囲みけり 成政給をんと

も共から〳〵出る敵 運の強き人とうたれぬる
そ不思議なる 芸を以て翔ぶが 首を取り 業物名人 指げ
へ〳〵て大音を名乗て大長刀を水車に廻して躍懸
り 見れば百餘人の兵共 四方へ颯と散てうち鉄
炮を撃かけり 寺内林三人の兵共そこをばなんを逃通り
て敵の見あまぶち持 討つ事 叶ひ難 雑兵ともの多合し
て大死する 誰なりて深手を負て近所へ引き陣した
兵共 二人 三人 五人 十人 百人 数の手負 寺内林四郎左衛門と云人ぞ
何も討負 追懸ける 一日上の五五